



こと。昔からの技や知恵に新しい意味を持たせてみようということで、できあがったワラこづみを客寄せのシンボルとした屋外カフェを田んぼで開いてみたのです。子供たちはワラやカエルや昔のおもちゃで思い思いに遊び、大人たちは阿蘇五岳を眺めながらコーヒーやお茶を飲んだり、あか牛を使った軽食を食べたり。これがなかなか好評で、町から来たお客さんだけでなく、近所のおばちゃんたちも楽しみにしてくれているのです。

秋が深まって来ました。全国的にも寒くなっているようですね。でも日中はまだ過ごしやすく、今年は例年よりも紅葉が美しい気がして、ついつい出掛けたくなくなってしまいます。

そんな秋の行楽シーズンに、今年もやりました。「こづみカフェ」。稲刈り後の田んぼで開く屋外カフェのことで、今年で3回目になります。始めたきっかけは、ワラを保存するためにつくる「ワラこづみ」をお年寄りに教えてもらった



3回目の今年は、「現代版こづみ」も登場。実は、コンバインについているワラを束ねる機械が故障。やむを得ず、手作業でワラを束ねたのですが、慣れていないので、やたらと時間がかかります。やっと作った束を積み上げていったら、量が足りなくて情けない姿に…。そこで、耕太が思い付きました。ロール状にしたワラの上に「とべ」と呼ばれる屋根をかけると、何となくそれらしく見える、と(笑)。昔の方法よりずっと簡単にできる現代版こづみですが、ただロールが転がっているより風情があります。瓢箪から駒とは、このこと？ やっぱり手仕事は大変だなあ、と改めて思いました。

こづみに続き、しめ縄の作り方も教えてもらいました。おばちゃんたちが作る絶品の巻き寿司やおはぎも。耕太が部長をつとめるサークル「南阿蘇ランドアートクラブ」は、お年寄りのもつ技や知恵を受け継ぎながら、今の暮らしの中でも活かせるような工夫をしようという活動に取り組んでいます。今年は村の助成金を頂いて、ワークショップを開いたり、その模様を映像として記録したりしています。先輩の農家さんが「農業用倉庫で映画上映会をしたい」と前々から言っていたので、それも併せて実現することに。倉庫の中に置いて

ある機械を出し、掃除をして、プロジェクターやスピーカーを入れたら、立派な映画館になりました。



上映した映画は、「よみがえりのレシピ」(<http://y-recipe.net/>)という伝統野菜を見直す山形のドキュメンタリー映画。娯楽映画ではありませんが、今このタイミングでぜひとも農村に住む皆さんに観て頂きたい作品として選びました。

実は今、タネにまつわる農家の権利が脅かされようとしています。米でも野菜でも、タネというのは、昔から大切に継がれてきた、生命の源となる財産です。しかし、ハイブリッド種子や遺伝子組み換え作物の台頭で、タネをめぐる権利が農民の手から離れようとしているそうなのです。私自身もあまりに知らないことが多いので、「種取り農家さん」を今月末にお呼びして、勉強会を開くことにしています。その予告編ともいえる、素晴らしい映画でした。これからも時々、趣向を変えた映画を上映していけたらいいなと思っています。

タネの話が続けます。阿蘇地方のタカナは、いわゆる「伝統野菜」。先祖代々、タネを受け継いできた阿蘇の野菜です。そのタカナの種を蒔きました。去年は蒔く時期が遅すぎて霜にやられて、我が家では良いタネが取れませんでした。それを知っている近所のおばちゃんが、気前よくタネを分けてくれました。タネをやりとりする権利がなくなってしまうと、こういうことすら危うくなるのですね。10日ほど経つと、可愛い芽が出そろいました。来春が楽しみです。



それから、私が1人で興奮しているビッグニュース。くまモンの生みの父であり、映画「おくりびと」の脚本を手がけた小山薫堂さんと一緒に食事をしたんです！春から私のことを追跡取材しているテレビ局さんに誘って頂きました。イタリア料理だったのですが、サプライズ好きな彼を驚かせるために、フルコースの後、デザート代わりにおあしす米でつくった塩おむすび。「おお〜」という歓声とともに、パクッとおむすびにかぶりついた薫堂さん。満面の笑顔で「うまい！」とってくださいました。生産者冥利に尽きます。



農作業はだいぶ減って来ましたが、イベント月間はまだまだ続きます。23日には東京で「農業女子フォーラム」という催しに出たり、29、30日は阿蘇で世界農業遺産のシンポジウムや分科会があったり。農繁期とかぶっていなかっただけマシですが、稲刈りが終わっても息をつく暇もありません。でも、ずっとやりたかった文化の伝承や、農村の良さのアピールなどがどんどん実現できている感じがして、楽しい日々です。合間を縫って、お芋の収穫やタマネギの定植も。まさに「百姓」(百の仕事)という感じです。



どうぞ皆さんも、楽しい秋をお過ごしください。季節の変わり目に体調を崩されませんよう、お気を付けくださいね。